

(別紙2)

賞金改善報告書

開設者(申請者):

医療機関等の名称(法人の場合は法人名):

令和8年6月1日以前のベースアップ月額水準の維持・拡大

賞付金その他の収入額

要知 本館 ①: 賞金改善の総額

〇〇クリニック ②: 賞上げ支援事業の基準額

〇 ③: 測定値

0円 ④: 申請額(千円未満切り捨て)

別紙1の「賞上げ支援事業基準額」と一致するようにしてください。

121,300円

150,000円

121,300円

121,000円

1名あたり平均額 (役職によって異なる場合は加重平均してください)							賞金改善の総額				
賞金改善の内容	①対象人数 (常勤換算数)	②月額または 一時金支給額	③月数	令和8年6月1日以前の ベースアップ月額水準 (直接入力)	令和8年6月1日以前の ベースアップ月額水準が 支給額以上(自動判定)	1名あたり平均額(月額)	賞金改善の内容	①対象人数 (常勤換算数)	②月額または 一時金支給額	③月数	賞金改善の総額
賞上げ(ベースアップ分)((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数)	5.4人	3,361円	2月	3,361円	〇	3,361円	賞上げ(ベースアップ分)((①対象人数×②月額×③月数)	5.4人	3,361円	2月	36,300円
特別手当((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数)	0.0人	0円	0月	0円	〇	0円	特別手当(①対象人数×②月額×③月数)	0.0人	0円	0月	0円
一時金((①対象人数×②支給額)÷①対象人数)	8.0人	10,825円	4月分	4,408円	〇	2,658円	一時金(①対象人数×②支給額)	8.0人	10,825円	4月分	85,000円
令和7年度の対象職員のベースアップについて、令和7年3月31日時点の賞金水準と比較して2.0%を上回って実施している場合は、令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分(別紙にて算定)				0円			令和7年度の対象職員のベースアップについて、令和7年3月31日時点の賞金水準と比較して2.0%を上回って実施している場合は、令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分(別紙にて算定)				0円

一時金の配分によっては「×」になる場合もありますが、特に問題はありません。

(職種内訳) ※行が不足する場合は適宜追加すること。

スタッフ数が少ない場合はスタッフごとに記入しても構いません。

職種	賞金改善の内容	①対象人数 (常勤換算数)	②月額または 一時金支給額	③月数	令和8年6月1日以前の ベースアップ月額水準 (直接入力)	フルタイムの看護師2人に対し、1人は月3,000円、1人は月5,000円のベースアップをし、このうち4か月分を一時金として支給した場合	①対象人数 (常勤換算数)	②月額または 一時金支給額	③月数	賞金改善の総額
看護師	賞上げ(ベースアップ分)((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 特別手当((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 一時金((①対象人数×②支給額)÷①対象人数)	2.0人	4,000円	2月	4,000円	〇	2.0人	4,000円	2月	16,000円
看護師	賞上げ(ベースアップ分)((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 特別手当((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 一時金((①対象人数×②支給額)÷①対象人数)	2.4人	3,500円	2月	3,500円	〇	2.4人	3,500円	2月	16,800円
看護師	賞上げ(ベースアップ分)((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 特別手当((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 一時金((①対象人数×②支給額)÷①対象人数)	4.0人	10,000円	4月分	6,000円	〇	4.0人	10,000円	4月分	40,000円
事務職員	賞上げ(ベースアップ分)((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 特別手当((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 一時金((①対象人数×②支給額)÷①対象人数)	1.0人	1,750円	2月	1,750円	〇	1.0人	1,750円	2月	3,500円
事務職員	賞上げ(ベースアップ分)((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 特別手当((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数) 一時金((①対象人数×②支給額)÷①対象人数)	2.0人	6,500円	4月分	1,625円	〇	2.0人	6,500円	4月分	13,000円

正規と非正規をまとめて記載することが難しい場合は、同じ職種であっても複数に分けて記入して構いません。

<看護師区分をまとめて記入する場合>

賞上げ(ベースアップ分)((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数)	4.4人	3,727円	2月	3,727円	0円
特別手当((①対象人数×②月額×③月数)÷①対象人数)	0.0人	0円	0月	0円	3,500円
一時金((①対象人数×②支給額)÷①対象人数)	6.0人	12,000円	4月分	5,833円	0円
令和7年度の対象職員のベースアップについて、令和7年3月31日時点の2.0%を上回って実施している場合は、令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分(別紙にて算定)					13,000円

$((3,000円 \times 1人) + (5,000円 \times 1人) + (3,500円 \times 2.4人)) \div 4.4人$

$((12,000円 \times 1人) + (20,000円 \times 1人) + (10,000円 \times 4人)) \div 6人$

所定労働時間が週35時間の医療機関で、非常勤事務職員(週17.5時間)2人に対し、時給1,200円→1,250円、一時金として1人には8,000円、もう1人に5,000円支給した場合

【2.0超部分算定シート】

1名あたり平均額 (役職によって異なる場合は加重平均してください)											賃金改善の総額
賃金改善の内容	I 令和7年3月31日時点の賃金水準(月額)	II 令和7年度中の賃金改善額(月額)	III 令和7年度中の賃金改善割合	IV 本事業の支給額を充てられる上限月額	V 本事業の支給額を充てる月額(IVの範囲内)	VI 本事業の支給額を充てる期間(最大:令和7年12月~令和8年5月の6ヶ月)	VII 対象人数(常勤換算数)	令和8年6月1日以降のベースアップ月額水準(直接入力)	令和8年6月1日以降のベースアップ月額水準がII以上(自動判定)	1名あたり平均額(月額)	賃金改善の総額
令和7年度の対象職員のベースアップについて、令和7年3月31日時点の賃金水準と比較して2.0%を上回って実施している場合は、令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分	0円	0円	0.0%	0円		0月	0.0人	0円	○	0円	0円

(職種内訳) ※行が不足する場合は適宜追加すること。

1名あたり平均額 (役職によって異なる場合は加重平均してください)											賃金改善の総額	
職種	賃金改善の内容	I 令和7年3月31日時点の賃金水準(月額)	II 令和7年度中の賃金改善額(月額)	III 令和7年度中の賃金改善割合	IV 本事業の支給額を充てられる上限月額	V 本事業の支給額を充てる月額(IVの範囲内)	VI 本事業の支給額を充てる期間(最大:令和7年12月~令和8年5月の6ヶ月)	VII 対象人数(常勤換算数)	令和8年6月1日以降のベースアップ月額水準(直接入力)	令和8年6月1日以降のベースアップ月額水準がII以上(自動判定)	1名あたり平均額(月額)	賃金改善の総額
看護師	令和7年度の対象職員のベースアップについて、令和7年3月31日時点の賃金水準と比較して2.0%を上回って実施している場合は、令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分			#DIV/0!	#DIV/0!					○	#DIV/0!	0円
看護師	令和7年度の対象職員のベースアップについて、令和7年3月31日時点の賃金水準と比較して2.0%を上回って実施している場合は、令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分			#DIV/0!	#DIV/0!					○	#DIV/0!	0円
事務職員	令和7年度の対象職員のベースアップについて、令和7年3月31日時点の賃金水準と比較して2.0%を上回って実施している場合は、令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分			#DIV/0!	#DIV/0!					○	#DIV/0!	0円
0	令和7年度の対象職員のベースアップについて、令和7年3月31日時点の賃金水準と比較して2.0%を上回って実施している場合は、令和7年12月から令和8年5月までの間の当該2.0%を上回る部分			#DIV/0!	#DIV/0!					○	#DIV/0!	0円

該当がない場合は記入不要です。